

令和6年度の取組について

令和7年3月26日

トラック輸送における取引環境・労働時間改善青森県協議会

○青森協議会では農産物を主要品目とし、荷役作業時間の短縮などの取り組みを行い一定の成果は果たせたものの農産物輸送の課題はまだ多く、配車のデジタル化による待機時間短縮、パレット化による積込み時間短縮等、引き続き取り組みが必要。

○青森協議会は今年度まで農産物全般の荷役作業時間短縮の取り組みを行ってきたが、次年度から農産物の主要産品を絞り「りんご輸送」について取り組みを行いたい。

○りんごは青森県のブランド商品であり、下請を含めると多くのトラック事業者が日本全国への輸送に携わっている

○りんご輸送においても待機時間等の荷役作業時間の短縮や、集積箇所の集約化等の課題解決が必要

○荷主においてもパレット化を進めているが、オペレーターの人員不足やりんごは種類により集積箇所が違い集約化は困難と聞いている

○このような課題解決に向けて、また将来にわたり安定した輸送量を確保出来るように、実証実験事業を検討しているが、前段としてりんご輸送の課題整理が必要

○令和6年度は「りんご輸送」の課題等を集約し、次年度の実証実験事業に繋げる取り組みを行う

○実証実験事業を行う場合は、国土交通省の補助金が活用可能

- 令和6年5月 物流セミナーの開催(青年部会・三八支部)
- 7月 飼料輸送関係荷主セミナーの開催(三八・上十三支部)
- 8月 長距離輸送関係物流セミナーの開催(南黒支部)
意見交換(全国農業協同組合連合会 青森県本部)
意見交換(青森県 農林水産部及び経済産業部)
- 11月 建設重機輸送関係荷主セミナーの開催(本部)
- 9月 第1回 価格転嫁促進連絡会議(青森県)
第1回 八戸地域物流問題懇談会(八戸市)
- 令和7年3月 第19回青森県協議会の開催
第2回 八戸地域物流問題懇談会(八戸市)
第2回 価格転嫁促進連絡会議(青森県)

「2024年問題」を迎えて、地域や輸送品目ごとに抱える課題が多様であると考えられることから、青森県トラック協会本部・支部にて開催されるセミナーにおいて、標準運賃・約款等制度説明、参加事業者・荷主と懸念される事項などについての意見交換を実施。

◆意見交換のテーマ

- ・ 2024年問題を迎えて、問題となっていること、懸念される課題はありますか。
- ・ 上記の課題解決に支部(自社)として検討をされている事はありますか。
- ・ 2024年問題に伴い、労働時間の見直しや価格転嫁へ向けて取り組んでいる事はありますか。
- ・ 課題解決に向けて、トラックGメンなど行政に求める事はありますか。

◆訪問先と参加事業者数

令和6年5月15日(水)	三八支部	青年部会	27者
7月29日(月)	三八・上十三支部	飼料バルク車部会	7者
8月21日(水)	南黒支部	長距離部会	12者
11月22日(金)	協会本部	建設重機輸送部会	19者

関係団体として、全国農業協同組合連合会青森県本部との意見交換を実施。

【事務局】

- ◇トラック事業者の現状への理解を求め、課題解決への協力を依頼。
- ◇2024年4月以降、輸送力減少の恐れがあること、法令、規則の改正によるトラックドライバーの労働時間削減について、理解及び協力を求めた。

【全国農業協同組合連合会青森県本部】

- りんご輸送の課題解決に向けて、4年前から取組を進めており、課題も抽出済み。
- 「労働力不足」の根本的な解決策は、施設改修や機械化しかない。
- 時間短縮に向けて選果場の集約も挙げられるが、現在使用している施設は補助金や償却期間の問題もあり、簡単には施設改修ができない。
- パレット輸送も取り組んでいるが、パレタイザー等機械化や段ボール強度の問題、パレットそのものの規格の課題がある。
- トラック会社に聞けば、バラ積みの方がいいという声がまだまだ大半である。
- 一方で、トラック運転手に聞けば、パレット積みを進めてほしいと言われる。
- 荷役時間の課題解決は、東京市場が一番のネックである。
- 市場側は、パレット輸送がまだ特別という認識。パレット化によって、産地で荷役作業を圧縮しても、荷待ちを発生させる要因は解消できない。
- 「今までどおり」がラクであり、根本的な問題が解決できていないから、費用と労力が“やる人たち”にかかってしまう。

関係団体として、青森県 農林水産部及び経済産業部との意見交換を実施。

【事務局】

- ◇トラック事業者の現状への理解を求め、課題解決への協力を依頼。
- ◇2024年4月以降、輸送力減少の恐れがあること、法令、規則の改正によるトラックドライバーの労働時間削減について、理解及び協力を求めた。

【青森県 農林水産部及び経済産業部】

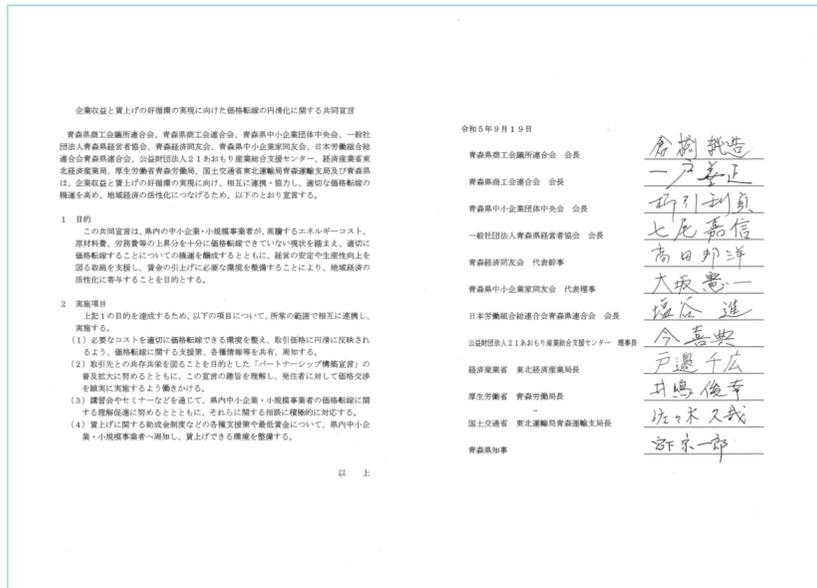
- 全農青森県本部がりんご輸送への様々な取組を進めていることは把握。
- 今後も全農青森県本部が取組を進めていくものと思料。
- 既存のりんご施設は国庫事業であり、貸与年数がまだ残っている状態。
この状態で施設を閉めると返還金が生じる可能性があり施設の集約化は厳しい。
- 一方で、商系(青森県りんご商業協同組合連合会)がまとまっていない。
- 商系が全農のパレットを導入すればパレット化が進むが、なかなか動きが鈍いため、全農がパレット輸送を牽引するしかない。
- 商系に確認したところ、「トラック事業者に聞いたが、全く問題ない。」との回答だったことから、現状認識や改善へ意思も低い印象である。
- 例えば、国の実証実験などを通じて、荷待ち時間短縮等の「優良事例」を一つ作り、それを商系にも広げられると、業界を通じて取組を推進できると思料。

企業収益と賃上げの好循環の実現に向けた価格転嫁の円滑化に関する共同宣言

昨今のエネルギー・原材料等の価格高騰により、青森県中小企業・小規模事業者がコスト上昇分を十分に価格転嫁できていない現状を踏まえ、企業収益と賃上げの好循環の実現に向けた価格転嫁の機運醸成を図るため、令和5年9月19日 関係機関による共同宣言を発出。(青森県の報道発表資料より)

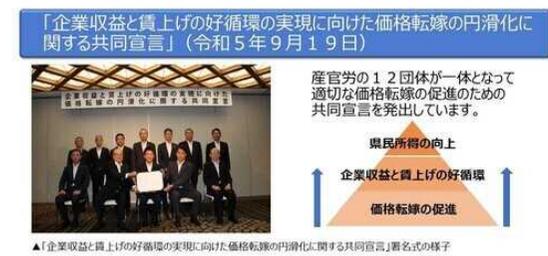
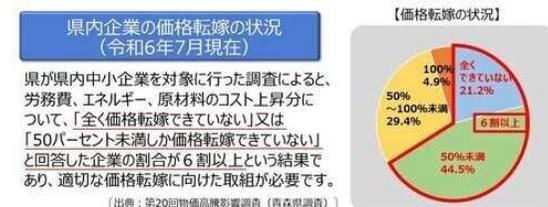
上記、共同宣言を踏まえ、共同宣言へ参画した団体に金融機関も加わり、「価格転嫁促進連絡会議」(事務局:青森県)が発足された。

令和6年9月に第1回、令和7年3月に第2回を開催し、県内企業の課題や各種施策について意見交換を実施。関係機関の連携や県内企業への情報発信等を行った。



「適切な価格転嫁」のお願い

- 青森県では、商工団体、経済団体、産業支援機関、労働団体、金融機関、行政機関等が一体となって、労務費、エネルギー、原材料等のコスト上昇分を適切に価格転嫁できる環境づくりを進めています。
- 事業者の皆様には、「適切な価格転嫁」への御理解・御協力をお願いします。



問合せ先：青森県 経済産業部 経済産業政策課
 ■直通：017-734-9369 ■メールアドレス：sangyo@pref.aomori.lg.jp

事業者の皆様へ

1 価格転嫁に関する取組の強化のお願い

パートナーシップ構築宣言の登録と宣言内容の実行

- パートナーシップ構築宣言に御登録いただき、価格交渉に積極的に応じていただきますようお願いいたします。
- 宣言後は、社内外への宣言の周知、宣言内容の実行、定期的な宣言内容の見直しをお願いします。

「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の理解と行動

- 発注者、受注者として取るべき行動をまとめています。
- 指針に沿った価格交渉の実施をお願いします。

2 相談窓口等の活用

「価格転嫁サポート窓口」への相談

- 原油・原材料価格・物価高騰等の影響を受ける中小企業・小規模事業者の価格交渉、価格転嫁の相談に応じています。
- 費用 無料(相談は何度でも無料です。)
- 申込先: 問合せ先
- 青森県よろず支援拠点((公財)21あおり産業総合支援センター内)
TEL:017-721-3787(平日:8:30~17:15)

「下請かけこみぎ」への相談

- 取引上のお悩みやトラブルの相談に応じています。
- TEL:017-775-3234【フリーダイヤル】0120-418-618

3 価格交渉の知識・ノウハウの習得

価格交渉講習会の受講

- 取引先に価格交渉する際に必要となる価格交渉の知識、ノウハウについて、ご都合に合わせてご参加いただける様々なプログラムを用意しています。最新動向から、その実例、事前準備や実際の交渉術まで、基礎～実践までを体系的に学べます。
- 基礎編(対面/オンライン)・実践編(eラーニング)

物流停滞が懸念される「2024年問題」を受け、八戸市において産学官金の関係者が対策を考える「八戸地域物流問題懇談会」を、令和6年9月に第1回、令和7年3月に第2回を開催し、八戸地域における各分野の現状や課題について意見交換を実施。地域関係者での問題意識の共有等を図った。



デーリー東北 記事
令和6年10月1日

【参加構成員】

- 座 長： 八戸市長 熊谷 雄一
- 陸 運： 青森県トラック協会 三八支部
- 海 運： 八戸港振興協会
- 鉄 道： 日本貨物鉄道株式会社
- 商工業： 八戸商工会議所
- 農 業： 八戸農業協同組合
- 畜産業： 青森県畜産・飼料コンビナート振興協会
- 水産業： 八戸魚市場仲買人協同組合連合会
- 大 学： 八戸学院大学
- 金 融： 八戸金融団
- 行 政： 青森運輸支局、八戸海事事務所、
八戸港湾・空港整備事務所、
青森県、
八戸市